

# 光商事と合計で36億円へ

ドンドン  
アツパン 原宿旗艦店、イベント盛況

リサイクル古着店を展開するドンドンアツパン(盛岡市、岡本昭史社長)は駅前立地と郊外で全国60店(直営13、FC47)に拡大しており、今期(13年8月期)全店売り上げは21%増を計

画する。光商事「ハンジロー」の運営は既存店立て直しを優先するとともに、古着の引き取り・割引券配布を始めて、平日行列が出来るドンドンタウンのノウハウを、ハンジローにも持ち



8分間古着の山から服を選び、着込んでいく「ふくぶくれ」イベント

込む。

ドンドンタウンは前期、横浜西口店、下北沢店など人口の多い駅前立地に出店して復調し、FCを含む全店売り上げを21%伸ばした。今期も駅前や都心立地に積極的に出店する。今期売りの上げは前期比2ヶタ増の約15億円に拡大する。

同社が12月1日付で買収した光商事は今期(12年12月期)売りの上げは21億円(前期約30億円)の見込みで、両社(ドンドンアツパンは直営店売りの上げとFC契約収入)合計売りの上げは約36億円となる。

今後は双方の特長を生かしながら、出店立地を拡大する考え。23日には、東京・原宿にリサイクル古着店「ドンドンタウン・オン・ウエンスデイ」旗艦店をオープンした。「ハンジロー」だった3階をドンドンタウンにリニューアルした。

制限時間の8分間に服を重ね着した分を持って帰れる「ふくぶくれ」といった販促イベントも催し、大盛況だった。参加費用888円。

参加者は古着の山から着られる服を急いで選択、とんとん着込んでいた。1月3日まで原宿店で行う。